

山木屋の手作りスケートリンクに広がった笑顔の輪

田んぼに咲く花

昨年、原発事故後、5年ぶりに復活した山木屋の手作りスケートリンク「田んぼリンク」が、今年も1月22日から一般開放されました。川俣スケートクラブ副会長の大内秀一さんが中心となり、氷点下の中、毎晩、製氷作業を続けました。白くきれいな氷とは裏腹に「少人数での作業は大変だった」と大内さんは話します。しかし、「このリンクの主役は子ども。何もない冬に、ただの田んぼで、楽しそうにはしゃいでいる子どもを見るのが何よりも幸せ」と、子どもたちが楽しそうに氷の上で遊ぶ姿に、大内さんは目を細めていました。



8



9



7



2



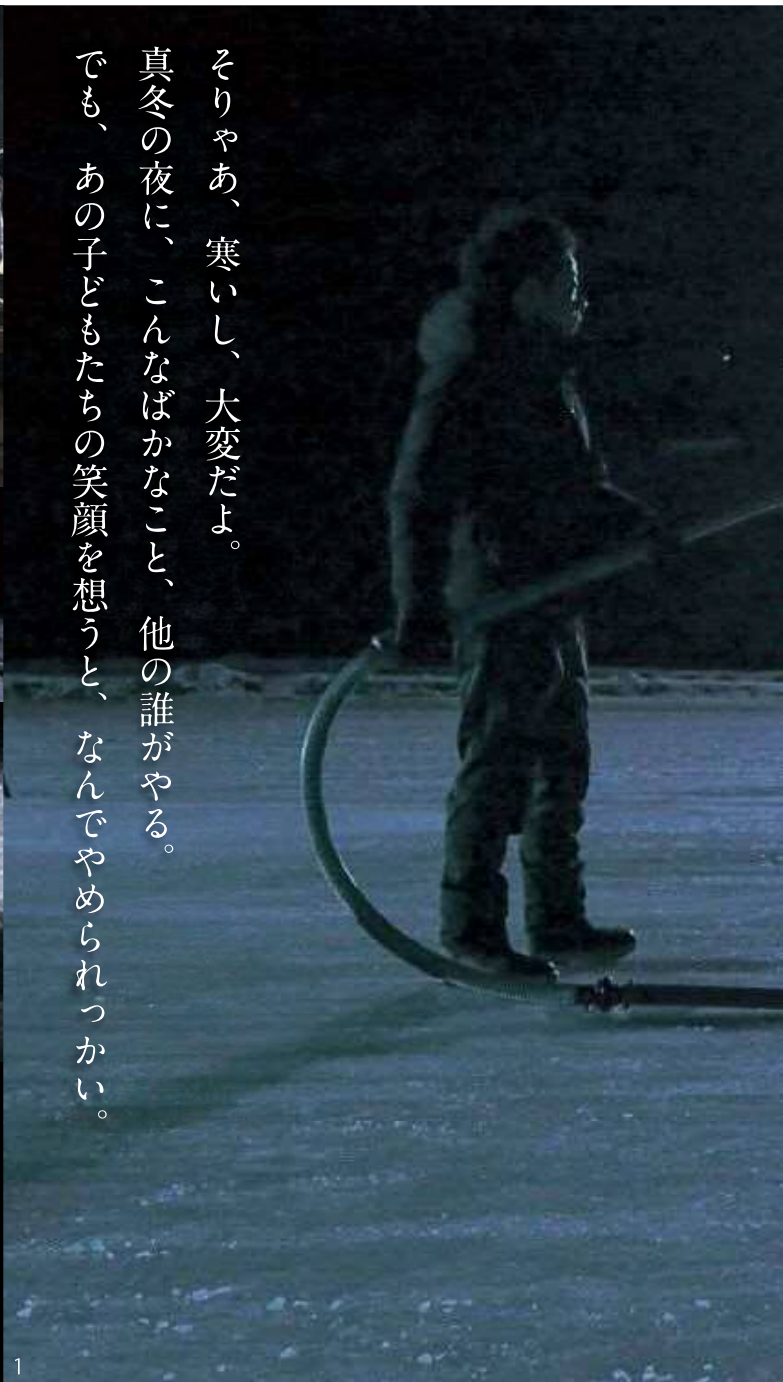
3



4



6



1

そりゃあ、寒いし、大変だよ。
真冬の夜に、こんなばかなこと、他の誰がやる。
でも、あの子どもたちの笑顔を想うと、なんでやめられっかい。



-Caption-

1. 少人数で続けられた氷点下の製氷作業。水が氷に落ちる音が響く 2. 子どもたちが使った後のスケート靴。乾燥、手入れ後、次の出番を待つ 3. ポンプのエンジン音が作業開始の合図 4. 子どもたちが来場する日の前夜、最後の仕上げを行う大内さん 5. 子どもたちはあっという間に氷に慣れていく 6. みんなで一斉にスタート 7. 初めての氷上でドキドキ 8. 疲れたから一休み中 9. スケート列車が通ります 10. スケートしたら、なんだか強くなった気がします。マッスル!